

サキホコレ甘くおいしい 本荘南中生、給食で味わう



県のブランド米「サキホコレ」を使った給食が20日、由利本荘市水林の本荘南中学校で提供され、全校生徒約300人が炊きたての味を楽しんだ。

生徒は照り焼きやみそ汁などとともにサキホコレを味わった。

普段の給食では「ひとめぼれ」を食べており、違いを確かめるようにゆっくりとかみしめるなど、甘みのあるブランド米を楽しんだ。

3年の安保翔さんは「初めてサキホコレを食べた。ふっくらしていて粒一つ一つが大きい。かめばかむほどおいしい」と話した。

給食へのサキホコレの使用は、若い世代に愛着を持ってもらおうと、県が2021年度に始めた。本年度は20～24日に県内の小中学校や義務教育、特別支援学校、給食を実施している高校2校の計286校に6万6千食を提供する。（二木佳奈）

（令和5年11月23日（木）秋田魁新聞より一部抜粋）